

テーマ1	センサー技術等を活用した効率的な野良猫の去勢不妊施策の検証（袋井市）
------	------------------------------------

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市では、年間を通じて地域住民から野良猫の糞尿被害について相談をいただいている。これらの被害の縮小を図るため、市では野良猫の去勢不妊手術費の補助を行っているが、猫は繁殖力が高く、繁殖のスピードが速い（年間に 15～20 匹程度出産する）ため、補助事業が数年以上継続されている。
- ・去勢不妊手術は、住民が飼い猫ではない野良猫に対し、自己資金を負担し善意で行っているため、事業の継続が不安視されている。
- ・一方で、野良猫に去勢不妊手術を施し地域猫として管理することは、ほかの地域からの野良猫の流入を自然に防ぐ効果がある（猫の縄張り意識によるもの）ため、実効的かつ継続的な去勢不妊のための施策検証が求められる。

2. 実現したい目標について

住民の善意のみに頼らず、野良猫の増殖抑制を実現したい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・特定エリア内の去勢不妊手術を受けていない野良猫を把握・管理する技術
- ・（もしあれば）一度に大量の野良猫に対し繁殖を抑制する、開発技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

※実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・市内のボランティア団体と協力し、提案技術を用いたプロトタイプ等を市内実証フィールド範囲内に実証導入し、その効果を検証する

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「野良猫の去勢・不妊手術費補助制度」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/16/1/pet/1422533521903.html>